

ビジネスパーソンの「夏休み」に関する調査 2014

～ 「夏休み」の平均取得日数は5.2日、20代のおよそ5割は「毎年楽しみにしている」～

「夏休み」と言えば、子供の頃はその言葉を聞いただけで心が躍り、とにかく待ち遠しかったもの。そんな「夏休み」について、大人になった世のビジネスパーソン達は一体どんな風に過ごしているのでしょうか。

ビジネスパーソン意識行動調査の2回目となる今回は、ビジネスパーソンの2014年の「夏休み」取得実態と意識について調査しました。
ビジネスパーソン1,000人のアンケートから、「リアルな夏休み事情」に迫ります。



【調査結果詳細】

7－8月中に会社指定の「夏（お盆）休み」休暇があるという人は全体のおよそ5割、
「夏休み」取得時期として最も多いのは“お盆”、次いで“お盆前”。
9割のビジネスパーソンが、6－9月のどこかでは「夏休み」を取得している。

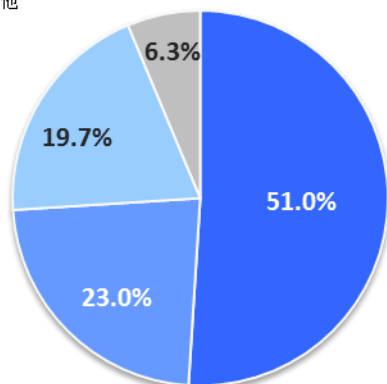
会社の「夏休み」制度では「7-8月中に会社指定の日程での“夏（お盆）休み”がある」が51.0%と最も多く、次いで「有給休暇とは別に“夏休み休暇”はあるが日程は決められていない」23.0%、「“夏休み休暇”はない（有給休暇を利用して“夏休み”を取る）」19.7%となった。

「夏休み」の取得時期については「8月のお盆」が59.1%と最も高かったが、会社の夏休み制度によってバラつきがあった。「有給休暇とは別に“夏休み休暇”はあるが日程は決められていない」という人達は「お盆」が多いものの、「お盆前後」や「9月」など比較的時期をずらして取得している割合も高い。一方、「“夏休み休暇”はない（有給休暇を利用して“夏休み”を取る）」人達は、およそ4割の人が「6－9月中に“夏休み”を取得しない」という結果になった。

【会社の「夏休み」制度】

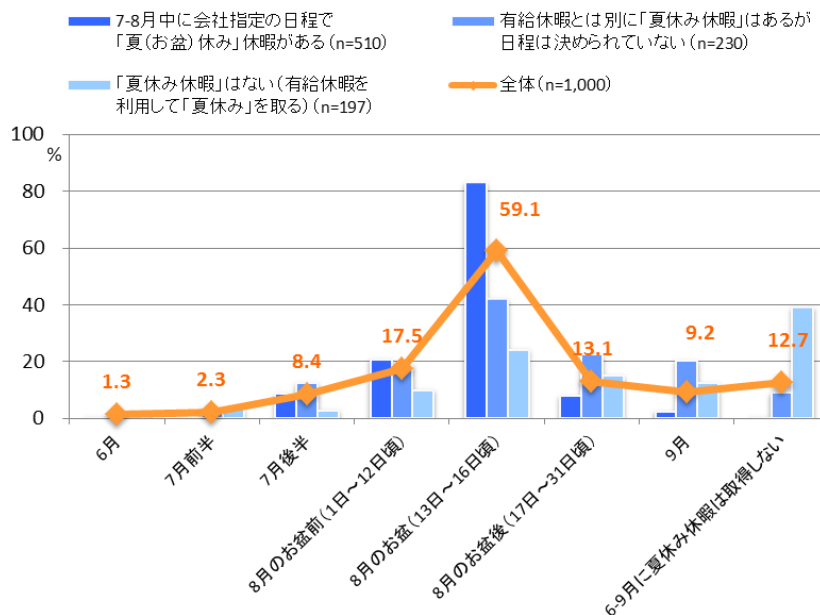
SA/n=1,000

- 7-8月中に会社指定の日程での「夏（お盆）休み」休暇がある
- 有給休暇とは別に「夏休み休暇」はあるが、日程は決められていない
- 「夏休み休暇」はない（有給休暇を利用して「夏休み」を取る）
- その他



【「夏休み」の取得時期】

MA(主な時期を2つまで)

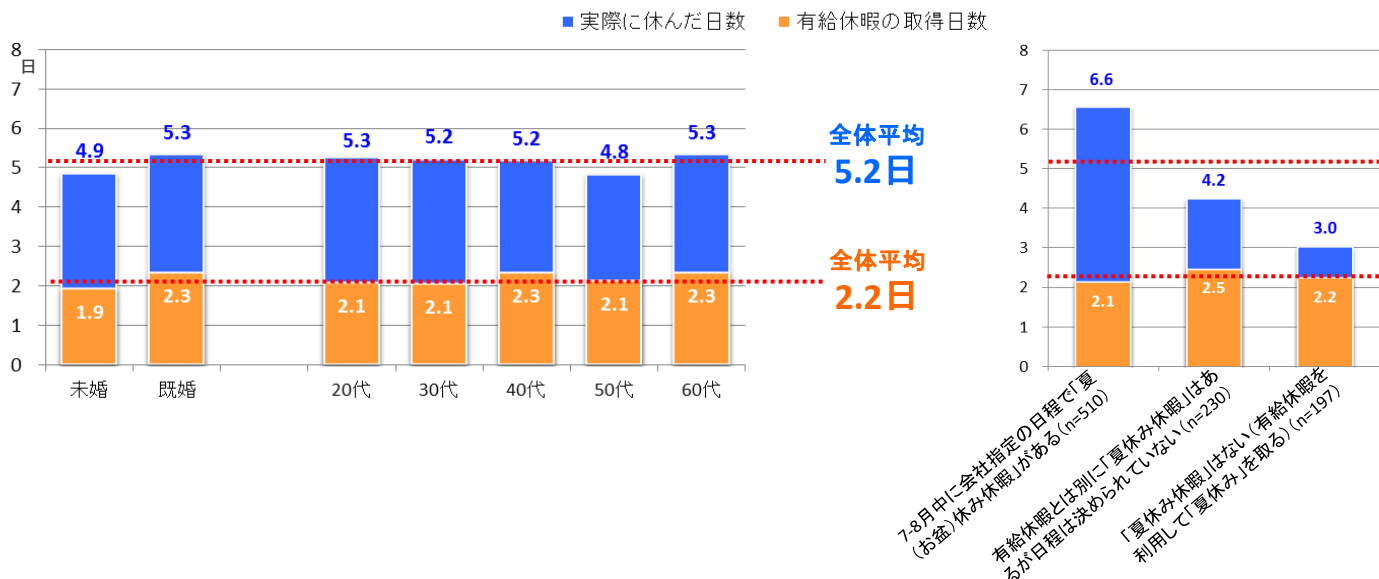


「夏休み」の平均日数は5.2日。うち、有給休暇取得日数は2.2日。 未婚者より既婚者の方が平均取得日数が多く、年代別では50代のみ平均取得日数が低かった。

「夏休み」の取得日数は平均が5.2日、そのうち有給休暇は2.2日となった。年代別でのバラつきはないものの、相対的に50代のみが少なく4.8日となった。

会社の休暇制度によって休暇日数に大きく開きがあり、「7-8月中に会社指定の夏休み休暇がある」人は6.6日と最も高く、「日程未指定の夏休み休暇がある」人は4.2日、「夏休み休暇はない人」が3.0日となった。

【「夏休み」の取得日数】 SA/n=1,000

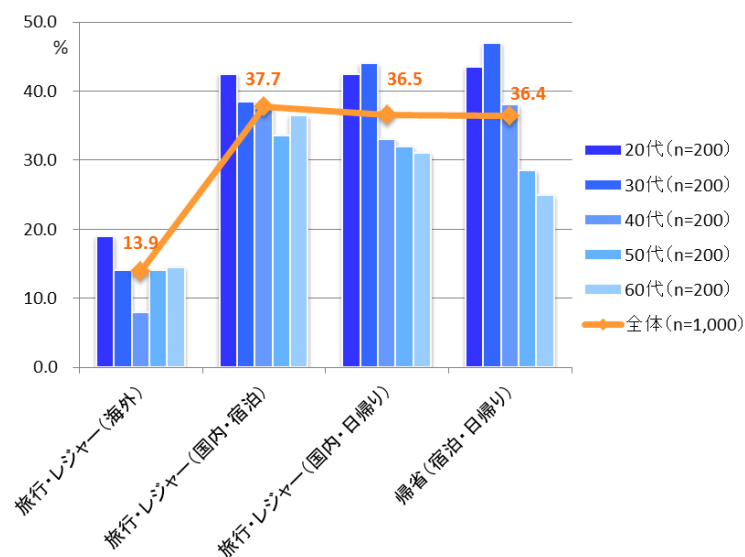


「夏休み」に“10人に1人”以上は海外旅行に行ったと回答し、中でも20代が最も多く、およそ“5人に1人”。国内旅行宿泊／日帰りについても“3人に1人”以上は行ったと回答。

「夏休み」の旅行内容としては、国内宿泊37.7%、国内日帰り36.5%、帰省36.4%、海外旅行13.9%となった。宿泊旅行は海外も国内も20代が最も多く、国内日帰り旅行、帰省については30代が最も高い結果となった。

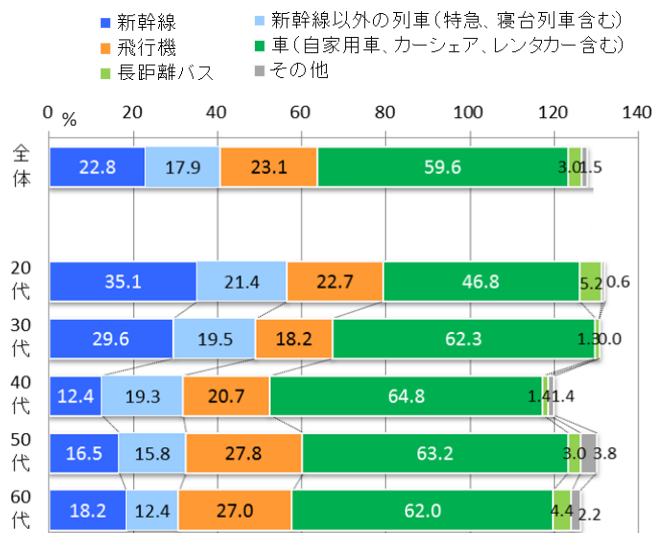
移動手段別では自動車が多く、次いで飛行機、新幹線であった。20代は相対的に自動車が多く、新幹線が多い。

【「夏休み」の旅行実施率】 MA



【「夏休み」の旅行に利用した主な交通機関】

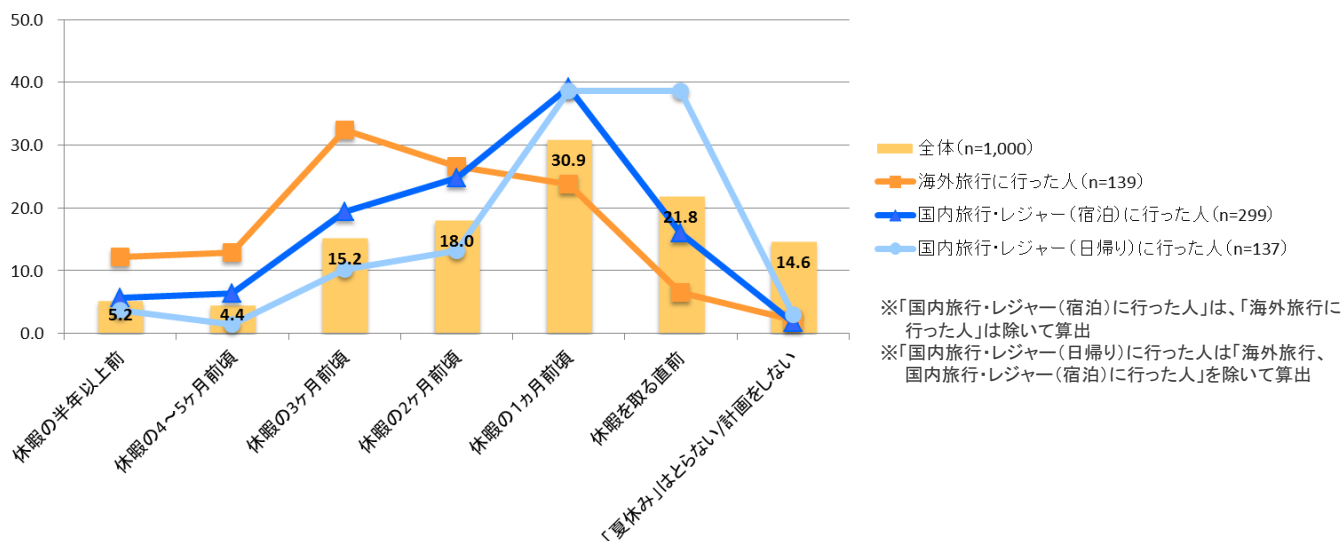
MA(主な時期を2つまで)



「夏休み」の計画時期で最も多いのは「休暇の1カ月前」であった。但し行き先別では、海外旅行者は「休暇の3カ月前」、国内旅行者は「休暇の1カ月前」の割合が最も高い。

「夏休み」の計画を立てた時期は、旅行先別に大きく差があった。海外旅行に行った人は「休暇の3カ月前」が最も多く、次いで「2カ月前」。国内旅行・レジャー（宿泊）に行った人は「1カ月前」が最も多く、次いで「2カ月前」。国内・レジャー（日帰り）では「1カ月前」と「直前」の割合が高かった。

【「夏休み」の計画時期】 MA（主な時期を2つまで選択）



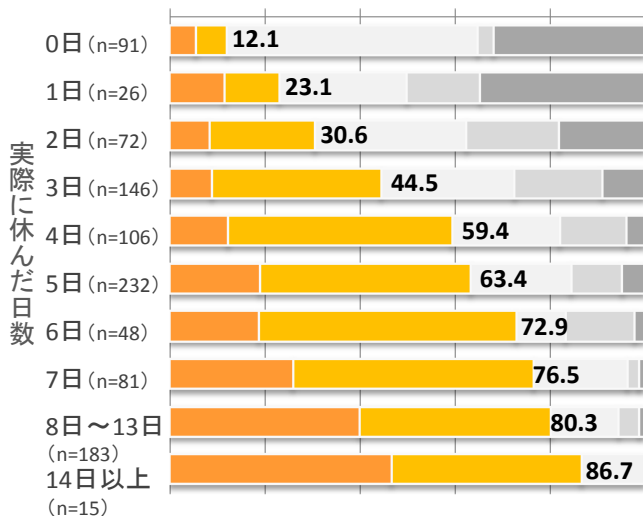
「夏休み」の日数についての満足度が5割を超えるのは、「4日以上休んだ人」。「夏休み」の家族・知人とのコミュニケーションに満足と答えた人の割合は、休暇日数にほぼ比例する。

「夏休み」の「日数」についての満足度では、「満足だった」「まあまあ満足だった」と回答した人の割合は日数に比例し、4日以降では半数以上が満足という結果に。

「（身近なもしくは遠方の）家族や友人とのコミュニケーション」についても、休暇日数と満足度がほぼ比例した。1日休暇を取った人46.2%と、休暇を取らなかった人と取った人では1日でも大きな開きがある。また、4日以上休暇をとった人から6割を超え大きく満足度があがっている。

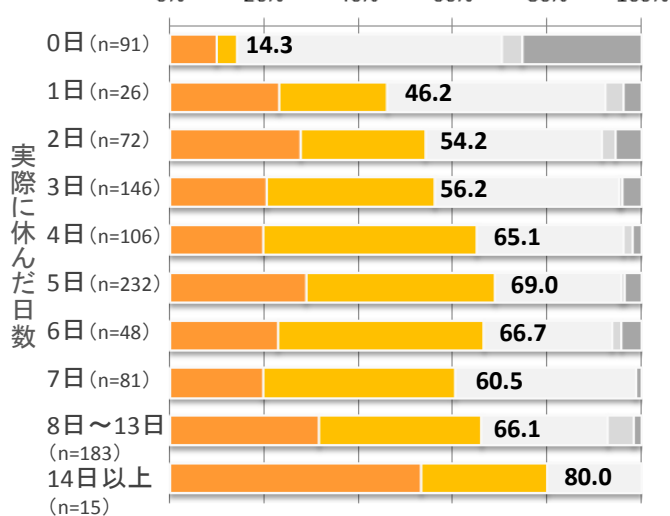
【「夏休み」の休暇日数についての満足度】

■満足だった ■まあまあ満足だった ■どちらとも言えない ■あまり満足ではなかった ■満足ではなかった



【「夏休み」の家族や知人とのコミュニケーションについての満足度】

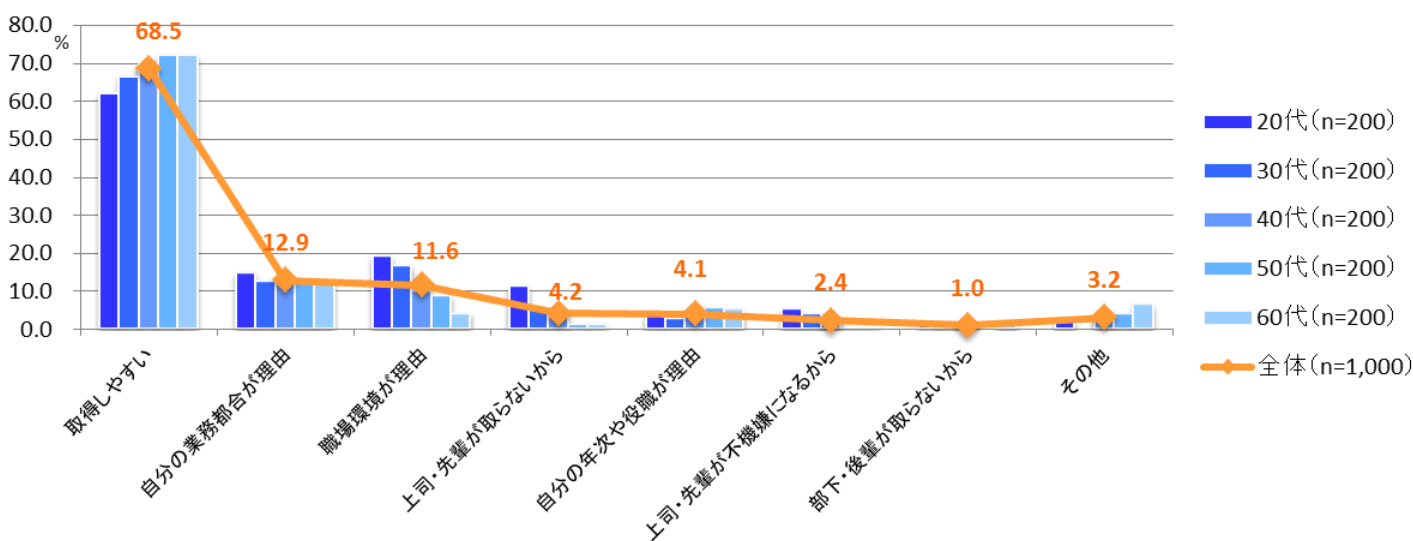
■満足だった ■まあまあ満足だった ■どちらとも言えない ■あまり満足ではなかった ■満足ではなかった



「夏休み」を「取得しやすい」と回答した人は全体のおよそ7割。 20代でも6割以上が「取得しやすい」と答えた。

「夏休み」の取得しやすいかどうかと、取得しにくい人はその理由を訪ねたところ、「取得しやすい」と回答した人は68.5%。「自分の業務都合」が理由で取得しにくいと回答した人は12.9%。「職場環境が理由」と答えた人は11.6%だったが、若年層ほど割合が高く20代では20%弱となった。

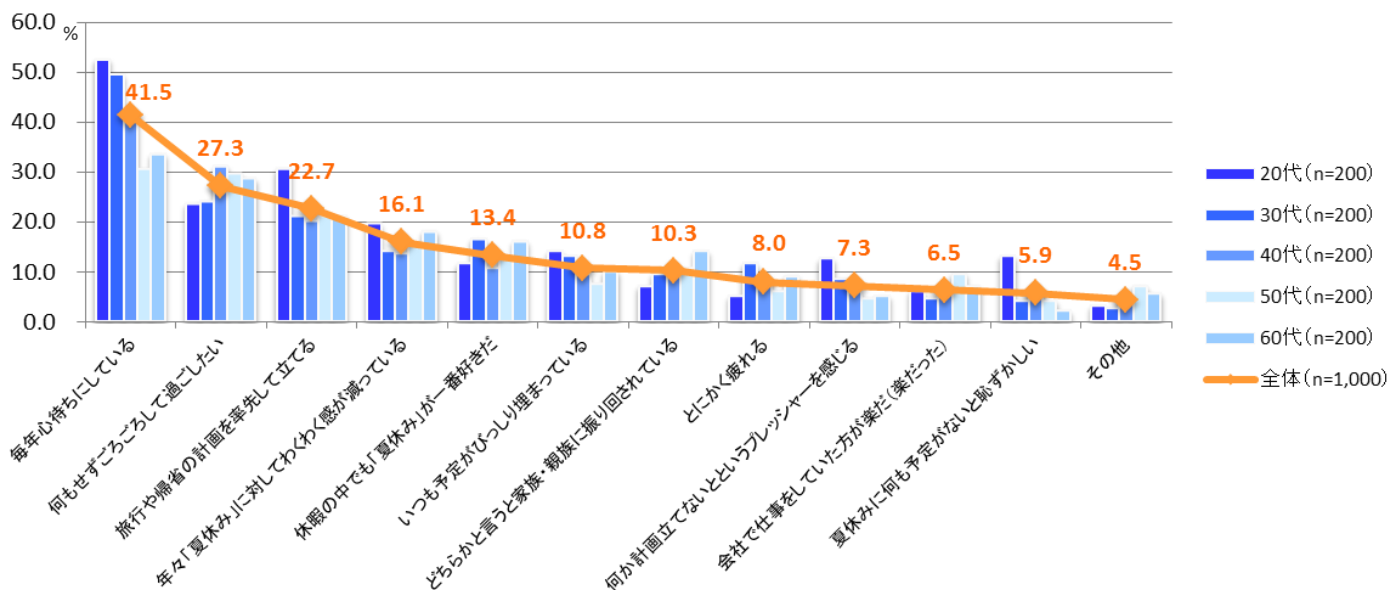
【「夏休み」の取得しやすさ／取得しにくい理由】 MA（「取得しやすい」は排他）



「夏休み」を「毎年心待ちにしている」と回答した人はおよそ4割、20代が最も高い。 「旅行や帰省の計画を率先して立てる」、「何か計画を立てないというプレッシャーを感じる」、「夏休みに何も予定がないと恥ずかしい」といった割合も20代が最も高い。

比較的「夏休み」に対してポジティブな意識では20代、30代が高く出る傾向があり、ネガティブな意識では40代～60代の割合が高めに出ている。

【「夏休み」について感じること】 MA



● 調査結果から

ビジネスパーソンの「夏休み」は、会社の「夏休み」制度によって大きく取得日数が異なるという結果になりました。会社制度として「日程指定の「夏休み」がある」と答えた方々は、平均休暇日数が「6.6日」としっかりと休暇を取得している傾向にあります。また、全体でも6～9月中の「夏休み」の取得率はおよそ9割となりました。

また宿泊旅行の実施率では、海外1割以上、国内でも4割弱。やはり「夏休み」は移動が活発になる季節でもあり、昔よりも「海外旅行」がより身近な存在になっていることが感じられます。これらは特に、若年層（20-30代）が牽引しています。利用した交通手段を見ると、20代は突出して「公共交通機関」の利用が多いことが顕著に表れ、若者の車離れの様子が表れています。そして車に変わって利用されているのが、特に「新幹線」であることも読み取れます。

「夏休み」の計画時期については、海外旅行に行った人は「旅行の3ヶ月前、2か月前」、国内旅行（宿泊）へ行った人は「旅行の1か月前」と回答した人の割合が高く、最も「夏休み」取得率の高い8月に海外旅行へ行こうと計画する人は、5月、6月には計画を始めていると考えられます。

「夏休み」に対する意識の面では、4割の人が「毎年楽しみにしている」と回答。「旅行の予定を率先して立てる人」が2割、20代では3割となりました。

今回の調査から、大人になった現代のビジネスパーソン達は、比較的しっかりと「夏休み」を取得している様子が見えてきました。また旅行は身近な存在となっており、活発に活用する人達も多く見られます。そしてとりわけ若年層ほど、ポジティブに「夏休み」を謳歌している様子が窺えました。

調査概要

調査方法	インターネットリサーチ
調査地域	首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県） 東海圏（愛知県、岐阜県、三重県） 関西圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県）
調査対象	20歳～69歳の男女ビジネスパーソン（マクロミルモニタ会員）
割付方法	エリア（首都圏、東海圏、関西圏）× 年代（20,30,40,50,60代）を均等に回収 / 合計1,000サンプル
調査日時	2014年9月24日（水）～25日（木）
調査機関	株式会社ジェイアール東海エージェンシー 株式会社マクロミル

その他調査項目：	・同居している家族形態 ・当初予定していた「夏休み」休暇日数 ・「旅行レジャー（海外）」「旅行・レジャー（国内・宿泊/日帰り）」「帰省（宿泊/日帰り）」と一緒にいった相手 ・「夏休み」取得時期についての満足度 ・「夏休み」行先についての満足度 ・「夏休み」交通手段についての満足度 ・「夏休み」旅行・レジャー・帰省の同行者についての満足度
----------	---

<調査結果の引用・転載、取材などに関するお問い合わせ先>

株式会社ジェイアール東海エージェンシー コミュニケーションデザイン部 担当：釣谷・小方
TEL: 03-6688-7847 e-mail: n-tsuriya@jrta.co.jp